

文教福祉常任委員会活動報告

当委員会は、1月30日、31日に静岡県富士市及び神奈川県小田原市を視察しました。

富士市のユニバーサル就労支援事業は、働きたいのに働きづらさを抱えている全ての市民が、働きがいや生きがいを感じて過ごせる地域を目指すものです。推進条例の制定により、障がい者等の就労が促進され、事業者は業務分解により効率性を高めています。刮目すべきは「こういう人を募集しています」ではなく、「こういう特性の人の出来る仕事はありますか」という、逆転の発想にあります。

小田原市の二宮尊徳学習事業は、尊徳翁の事績等を通して郷土の先人を愛する心を育み、自己の生き方の一助とするものです。郷土の偉人を知することは、すなわちその恩を知ることです。子どもたちのロールモデルとなる偉人教育は、人間形成の根幹をなすものです。

文教福祉常任委員会 副委員長 青木 敏久



富士市のユニバーサル就労支援事業の説明を受ける委員